

会長メッセージ

6月25日の全日本弓道連盟評議員会で新理事が選出され7月7日の理事会で会長以下、新執行部が決定されました。奈良県弓道連盟は全日本弓道連盟の傘下でありこれからも、新体制に協力していきたいと思えます。

矢羽の問題では、7月1日から、トレーサビリティ証明書を各自、持参することを義務付けられました。健全な弓道活動するために所持する努力をお願いします。

8月は、第60回全国高等学校弓道大会が6～9日に吉野町で、国体近畿ブロック大会が15～16日吹田で、全国高専弓道大会が25～26日に橿原公苑弓道場で、大きな行事が予定されています。運営への協力、役員の方々の協力、そして、選手の応援に、ご協力をお願いします。

奈良県弓道連盟会長 西中 正

◆県弓道教室 創設10周年記念射会

奈良県弓道連盟により創設された弓道教室が10周年を迎えました。竹村先生、新司先生のご指導のもと創設当初はわずか6～7名の受講生でしたが、10年の歳を経て現在では32名にまでなりました。受講生の大半は、職業人をリタイアして弓を手にした人、子育てから解放された人、青春を弓に没入したことが忘れられない人、弓に興味を抱き続けてきた全くの初心の人など様々の人の集まりです。男女の構成はやや女性が勝る為か、男性陣は概してもの静かな御仁が多いようです。平均年齢は、還暦をほんの少し過ぎている様子ではありますが、意気軒昂、弓が楽しくて仕方がない、とばかりに取り組み続けております。両講師の懇切丁寧なるご指導、時には手厳しくも愛あるご教示のお陰と、各人の精進もあって、まだまだ赤児同然ですが少しずつ階段を昇っております。

連盟・各支部の皆さん方のご支援を賜りつつ、積み重ねて参りましたこの「10年」を区切りとして、記念の射会を去る5月22日に開催いたしました。我々受講生全員での全くの手造りの射会であり、どうなることかと不安でしたが、ご多忙にも拘わりませず、西中正会長、深田紀美子副会長・阪中計夫副会長のご来臨を賜り、望外の盛会となりました。

竹村講師による矢渡しに始まり、ご来賓による一つの祝射礼、受講生による祝射と続き、午後には和気あいの余興競射に興じ、最後に新司講師による納射で締めくくりました。(右上へ)

次の20周年には現受講生はごくわずかしかないでしょうが、体力・気力のある限り、続けてゆきたいと念じております。

微力ながら、聊かでも連盟への貢献が出来るよう努めて参る所存ですので今後とも皆様の温かく、時には厳しいご指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



(県弓道教室：平田和豊)

◆第27回奈良県教職員弓道大会

6月27日(土) 橿原公苑弓道場にて県教職員大会を開催しました。今年度は参加者10名という寂しい大会となってしまいました。しかし、男子の部では競射4本で順位が決まらず、時間の関係から遠近法で順位を決めました。結果は優勝が前川さん、②竹田さん、③松本さんとなりました。また、女子の部では、優勝が10射6中の榎田さん、②明崎さん、③小西さんとなりました。後の総会では会計報告、近畿教職員弓道連盟規約について、全国教職員大会の開催地についてそれぞれ確認しました。



(県教職員：土谷尚敬)



◆第21回布目弓道大会

— 厳しく、そして優しい大会 —

6月20日に英明館にて布目弓道大会が、県各支部から107名が参加して実施されました。梅雨本番の中、幸運なことに、雨に降られることもなく、午後には時々太陽が照る一日でした。開会式では吉本先生が、英明館が21年前に山添村の中窪さんのご好意で建設できたことなど歴史を振り返り、感謝の気持ちをこめて挨拶されました。来賓として山添村の教育長も参列され、ご挨拶をいただきました。

矢渡しは、吉本先生、第一介添えは上田教士、第二介添えは綿松錬士で行われ、続いて、西中教士、阪中教士、西浦教士による一ツ的立射礼。毎年のことですが、豪華な顔ぶれによる演武でした。プログラムはほぼ例年通りに、弓道教室生による部と一般参加者の部に分けて実施。一般参加者の部では一手2回の競射について、今年も称号者を含め全員が採点され、採点結果が公表されます。これについて、吉本先生から採点される者は自分が段位にふさわしい射をしているかを知るために、また、採点する者は自分の採点の判断基準が適切かどうかを知るために、この機会を活かしてほしいと説明があった。吉本先生が常々、「ある段位に昇段して、そこからその段位にふさわしい射ができるように努力する必要がある」とおっしゃっていることをあらためて思い出します。その意味で日ごろの精進が試される厳しい大会だといえます。当日の成績は別表のとおりです。

他方で、この大会はとても優しい大会でもあります。競技の後には公民館に集まり、表彰式、懇親会が開催されます。各テーブルでは食事をしながら段位の差は関係なく、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごします。中でも、参加者の一番の楽しみは飛び賞です。「成績が芳しくなかった人でも、多くの参加者に喜んでもらえる大会にしたい」という吉本先生のお考えがあって、地元の大和茶、醤油、東北支援の地酒、さらには井戸上先生手作りの印伝の模様入り皮製懸け袋など、素敵な景品が数多く準備され、くじ引きによって当選者が選ばれました。この飛び賞が楽しみで参加する人も多いとか。また道場の前では山添村産の野菜やパンなどが販売され地元の人々との交流も行われました。

会場の準備から後片付けに至るまですべてが参加者の自主的な協力によって運営されています。開会の挨拶の中で、吉本先生は本大会を前に、安土が坂口さんやシャープ弓道部員などの手で整備されたことに言及され、日本で一番素晴らしい安土ではなからうかと自負されました。また、矢道の芝桜が日ごろ道場を利用している人たちの手入れのおかげで元気を取り戻し、春の満開時の写真を大会プログラムの表紙に使った旨の話もありました。

最後になりましたが、吉本先生が全日本弓道連盟副会長と
(右上へ)

いう要職にあつて、超多忙でありながら、大会資料の作成、食事の手配など、多くの作業を奥様の協力を得ながらなさってこられました。申し訳なく、感謝の気持ちで一杯です。そして、この厳しくて、優しい布目大会で来年も多くの人とお会いできることを楽しみにしています。

【成績】

[技能優秀の部]

技能最優秀賞 原田 祐介
技能優秀賞 松澤 和実
技能優秀賞 前川なつき

[一般の部]

優勝 衛藤 博史
二位 原田 祐介
三位 森本 知義

[弓道教室の部]

優勝 守屋 奈保美
二位 今谷 直斗
三位 松本 耕一



(野尻賢司)

◆近畿地区指導者育成講習会

会期：6月20日（土）、21日（日）

会場：兵庫県立弓道場（明石市）

主任講師：柴田猛範士、講師：江郷國紘範士

受講者：35名

〔奈良県：豊田、山下、高橋、小野、宮島、井上〕

〔1日目〕

- ・受講生による準備体操、開会、講師紹介
- ・矢渡し・射手：柴田主任講師、第一・第二介添え：受講生2名（いずれも称号者）
- ・受講生による一手行射および各人への講評
- ・講話・競技規則等に加えられた変更点、矢羽根について解説。上達するために必要なこととして次のことを挙げられた。
 - ①目標をもち、その実現に何が必要かを考え、実行する。
 - ②長幼の序、時・所・位をわきまえる③人とモノに対して報恩・感謝の心をもつ。
- ・射技研修・手の内、肩胛骨の使い方、離れについて解説と実演。握りが細すぎる者が多いとのご指摘。手幅にあった太さと形（カマボコ型）にして角見を効かせることが重要。

〔2日目〕

- ・講師による一つの射礼
- ・基本体と基本の動作（歩き方、角の取り方、開き足、など）
- ・射礼研修（五段は持的、称号者は一つの）
- ・質疑応答
- ・相互研修
- ・検定試験（一手行射）
- ・修了証授与、閉会

所感：

最初に着装についての評価kがあり、指導者として身だしなみと立ち居振る舞いに意を払う大切さに気づきました。受講生はみな緊張していましたが両講師先生ともに非常に気さくな方で、孫を教え導く祖父のように、ときにダジャレを交えながら気前よく多くの技を見せてくださいました、特に手の内はよく研究されていて、数名の受講生の握りを作り直して下さるほどでした。射礼研修および基本体の研修では、審査で減点されるポイントを示して日頃の稽古の重要性を説かれ、「（道場でなく）家でしっかり稽古しなさい」のお言葉には自分の怠惰を恥じました。一流になる条件は「やる気、素直さ、工夫、運」だと述べられ、迷いが吹き飛ばす心地がしました。講習会でいただいた教えの量に比して受け取る自分の器はあまりに小さいものですが、少しずつ取り組みたいと思います。本当に素晴らしい経験をさせていただきました。ありがとうございました。（奈良支部：井上ゆみ子）

◆第1回伝達講習会

平成27年6月28日（日）橿原公苑弓道場において標記の講習会が行われました。（受講生28名）

開会式では西中会長から「全弓連も矢羽の問題で研修関係の実施に多少のもたつきがあったが、兵庫県明石で行なわれた近畿地区指導者講習会を受けて本県では今年度2回の伝達講習会を実施します。基本に立ち返って練習していきましょう」とのご挨拶があり講習会が始まりました。

その後伝達事項・「平成27年度指導方針」「指導者の心得」「指導項目」を説明させていただきました。

基本体及び射法・射技の基本の研修で「歩き方」「跪坐及び開き足」「正しい的のねらい」等の確認を実践していただきました。また、射礼及び射技研修では、持的射礼、一つの射礼（2人、3人、4人）を行なっていただきました。特に原則の間合いで行なっていた持的射礼の皆様には記憶に残る経験をしていただきお疲れ様でございました。

第2回は四・五段及び支部指導者を対象に実施を予定しております。（指導部：山本元祥）

◆第66回 奈良県 県民体育大会

日時：平成26年7月5日（日）

会場：橿原公苑弓道場

参加人数：

- ・市郡対抗 【男子】11チーム 【女子】8チーム
- ・公開競技 【男子】15人 【女子】24人
【熟年】16人

今回の県民体育大会は雨天のため、市郡対抗戦の遠的競技を近的競技（立射）に、公開競技の遠的競技を中止とする競技方法を変更しての大会となりましたが、各部門熱戦が繰り広げられました。

【大会結果】

○市郡対抗（団体）

【男子】

優勝：香芝市 32中

監督：竹村 邦夫

選手：竹村 邦夫、宮島 裕也、辻本 元威

2位：生駒郡 30中

監督：平木 一史

選手：蔵地 隆文、平木 一史、乾 光孝

3位：吉野郡 30中

監督：新子 紘司

選手：庄司 宗弘、新子 修平、裏田 高寛

（次ページへ）

奈弓連だより

発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集 担当 土谷尚敬
衛藤博史

【女子】

優勝：奈良市 30中
監督：明瀬 綾子
選手：松澤 和実、揚田 よう子、奥戸 由美
2位：生駒郡 22中
監督：羽田 幹枝
選手：羽田 幹枝、安住 奈津子、河合 博子
3位：香芝市 21中
監督：牧浦 信恵
選手：葛井 麻衣、白井 真由美、白井 礼子
○市郡対抗（個人）

【男子】

優勝：新子 修平（吉野郡） 16中
2位：中井 正剛（天理市） 14中
3位：乾 光孝（生駒郡） 12中

【女子】

優勝：揚田 よう子（奈良市） 11中
2位：奥戸 由美（奈良市） 11中
3位：松澤 和実（奈良市） 9中

○公開競技

【成年男子】

優勝：前川 彰吾（橿原支部） 5中
2位：桐山 淳志（奈良支部） 5中
3位：鎌塚 安彦（五條支部） 4中

【成年女子】

優勝：山下 常子（奈良支部） 5中
2位：上田 浩子（五條支部） 4中
3位：鷺尾 佐和子（錬弓会） 4中

【熟年】

優勝：松本 信一（橿原支部） 4中
2位：川西 正人（奈良支部） 4中
3位：徳田 四郎（奈良支部） 3中



（競技部：長濱正伸）

◇全日本弓道連盟 新役員◇

| | |
|----------------------|--------|
| 会長（代表理事） | 柴田 猛 |
| 副会長（業務執行理事） | 那須 弘平 |
| 副会長（業務執行理事） | 高田 昌浩 |
| 副会長（業務執行理事） | 中野 秀也 |
| 副会長兼専務理事 （業務執行理事） | 岡本 仁 |
| 業務執行理事 | 窪田 史郎 |
| 業務執行理事 | 竹内 明夫 |
| 業務執行理事 | 今村 朱美 |
| 業務執行理事 | 宮下 克美 |
| 理事 | 波江野 弘 |
| 理事 | 安倍 嘉人 |
| 理事 | 西岡 忠夫 |
| 理事 | 加地 隆治 |
| 理事 | 野下 えみ |
| 理事 | 伊藤 徹 |
| 理事 | 岡村 豊太郎 |
| 理事 | 橋本 雄太郎 |
| 理事 | 外菌 公毅 |
| 理事 | 阪本 孝英 |
| 理事 | 宮脇 保博 |
| 理事 | 信國 幸人 |
| 理事 | 影山 一 |
| 理事 | 千葉 知之 |
| 理事 | 深町 芳洋 |
| 理事 | 三反田 豊 |
| 理事 | 松家 元 |

編集後記

台風一過、夏本番！選手の皆さん、熱中症に注意しながら、各種大会で活躍されることを期待しています。

編集者の支部告知で申し訳ないですが、そんな真夏に百射会をします。橿原支部主催で8月2日（日）に橿原公苑弓道場での開催です。参加者を広く募集しますので、真夏の百射会にチャレンジしたい方は橿原支部連絡員（衛藤）までご連絡下さい。暑さに負けず、百射しましょう！